

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク** 実施結果報告

実施日時	平成 24 年 11 月 16 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)		
実施場所	四ヶ村ふれあいセンター	参加人数	12 人
参加対象	宇田ヶ沢、菅沼、山新田、東枯木又、西枯木又		
市側の出席者	市長 観光交流課主事、農林課主事		
懇談内容	<p>1. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地の芸術祭の経済効果は増加する入込客数と比べて第 1 回展から第 4 回展まで右肩下がりの印象を受けるが、その算出方法は？ <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算出基礎になっているのは、購買（消費・宿泊など）や（建設）投資。作品の展示場所までの道路整備など土木建築工事を行なった初期の方が経済効果は大きかった。今回は前回と比較して多少投資が多くなる見込み。 <p>2. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧枯木又分校の雨漏りがひどいので直してほしい。 雪処理の負担が大きいので、可能なら屋根を落下式にしてほしい。 また、水が出なくて苦労しているので、併せて直してほしい。 <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理には、相当の予算措置をしているが、地元の皆さんでも工夫をお願いしたい。 <p>3. 発言者</p> <p>①旧飛渡第二小学校はどうなるのか？危険でないところだけでも芸術祭作品として活用したらどうか。</p> <p>②壊す目途はいつごろか？</p> <p>A. 市長</p> <p>①危険なところは壊す予定。体育館は使えるので、活かせるものは活かしていくべきと思う。例えば、旧六箇小は企業に買っていただいた。地域の皆さんに活用いただく方法もあると思うので、検討してほしい。</p> <p>②平成 25 年度に行う予定だが、できれば次の事業を見据えながら行いたいと考えている。</p> <p>4. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の工場等で活用したらどうか。（冬季の間も使えるようなもの） <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松代に野菜工場がある。放射能事故以降、安全だということもあってか、 		

工場で作る野菜がとても売れている。いろんな考え方があるが、地域でも検討してほしい。

5. 発言者

- ・知事が、5kgの米を15,000円で売っているという話をされていた。桐箱に入れるなどのアイデアもあると聞いているので、またそういう話を聞いたらお知らせしたいと思う。

A. 市長

- ・天日乾燥した完全無農薬であるとか、何重も付加価値をつけると倍々となっていくことも考えられる。上手く仕組みづくりができればと思う。

6. 発言者

- ・芸術祭会期中に、地域内で直売所を出店したが、2009年と比較して売上が下がった。作品によって温度差が出ているように感じる。宣伝等の影響によるものだと思うが、地域に人が来て地域のお年寄りの楽しみなどに繋がるので、その温度差を縮めてほしい。

A. 市長

- ・農舞台はとても売れているが、ところによって差がある。バスが停まるところには人が来るが、そうでないところにはあまり多くの人がか来なかったもので、これは何とかしたいと思う。

7. 発言者

- ・芸術祭のツアーバスなどが来るようにするためには、「集落」というより「地域（例：飛渡）」として作品誘致が必要かもしれないと思っている。集落募集開始がもっと広く知れ渡ると良いと思う。

A. 市長

- ・第6回展にチャレンジしたい作家は、今回の芸術祭を見たうえで応募してほしいということにしたが、作家候補は結構入ってきている。作品をどこまで地域の人がかバーするののかということもあると思うが、それは地域の皆さんのお考え次第だと思う。

8. 発言者

- ・SL運行と大地の芸術祭の絡みはあるのか？

A. 市長

- ・芸術祭はもちろんだが、一番今考えているのは、北陸新幹線開業のこと。飯山駅に付くので、そこからの飯山線の発信を考えるべきだと思っている。
- ・五能線は景色を見に来る人が増えていて、地域のみなさんの津軽三味線の演奏などのおもてなしが魅力。地域の皆さんが一生懸命になっている良い例であり、JRも「地域がそこまで一生懸命ならやりましょう」と

ということでのっているもの。こういう事例に飯山線もならないかと思っている。北陸新幹線開業は2年半後なので、ここから半年くらいが大事。沿線自治体と一緒にならないといけない。

9. 発言者

- ・飯山線の名前を「妻有飯山線」などに変えたらどうか？

A. 市長

- ・越後妻有というブランドが育っている。そこにどう新しいものを足していけるかだと思う。